令和元年度　第３回碧南市民病院運営審議会　議事録

１　日時

令和２年２月３日（月）午後１時３０分から午後３時まで

２　場所

市民病院２階　講義室

３　出席者（委員）１６名（順不同）

加藤丈博委員（会長）、長田和久委員、生田譲委員、水野博史委員（副会長）、奥村晋平委員、鈴木並生委員、三島孝二委員、名倉孝昭委員、山中寛紀委員、小城康裕委員、杉浦邦俊委員、禰宜田知司委員、城頭亜紀子委員、神谷悟志委員、鈴木玲子委員、對馬幸司委員

４　欠席者（委員）２名

神谷葉子委員、森田英治委員

５　出席者（病院側）１５名（事務局担当含まず）

禰宜田市長、亀岡病院長、杉浦(誠)副院長、杉浦(厚)副院長、金澤副院長、古久根看護部長、鈴木医事経営課長、伊藤管理課長、中崎訪問看護ステーション管理者、榊原管理課課長補佐、高原施設用度担当係長、野村医事経営課企画推進係長、河合医事経営課医事係長、鈴木医事経営課医事担当係長、深津管理課総務係長、

６　傍聴者

２名

７　内容

(1) 会議の成立について

経営管理部長から本日の出席者は１６名で、委員の過半数を超えたため、本日の会議は成立した旨の宣言があった。

(2) 傍聴者について

会議の公開に伴う傍聴者について、経営管理部長から、本日２名の傍聴者がみえる旨報告があった。

(3) 禰宜田市長あいさつ

皆さんこんにちは、碧南市民病院の管理者であります市長の禰宜田です。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。昨年の９月に厚

生労働省が再編統合を検討する必要がある医療機関名を公表され、安城更生病院が近くにあることから同じ機能を有する医療機関ではないかということで、碧南市民病院も名前が公表されました。しかし、年間で約３，２００件の救急車の受け入れをしており、そのような現状は考慮されずに公表されました。それゆえ、本年度より病棟改修をする予定でありましたが、現在は病棟改修を延期しております。今後としては、適正な病床数が決まらないと病棟改修ができないため、病院経営状況も含めたうえで病床数を決めていく。また、病院経営状況も毎年１０億円の赤字では、市も負担しきれないため、最低限４億から５億円ほどの赤字で収まるような経営にしなくてはならない。碧南市民病院は西三河南部西医療圏内であり、５つの急性期病院で連携する協定を結びながら、医師の確保も含めて協力しながら、赤字が収まるようにしていきたい。今後は碧南市の人口も減る傾向であるため、それも含めて、どれだけの病床が必要なのかをしっかり決めていきたい。それから病棟改修を進めていきたい。そのように考えておりますので、ぜひともよろしくお願いいたします。本日の議題は、病院、訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の来年度の予算ということでありますので、ご審議をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

(4) 加藤会長あいさつ

みなさんこんにちは。碧南市医師会の加藤です。本日はお昼どきのお忙しい時間帯にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。最近では、新型ウィルスの感染症、それに伴う肺炎で世界中がその対応に追われている大変な時期でございます。それから、市民病院におかれましても、先ほど市長よりお話がありましたように、再編統合を必要とする病院に碧南市民病院も指定されたのですが、救急に関しては、年間で３，０００から３，５００台の救急車を受け入れ、碧南市内の民間病院がとてもこなせる件数ではありませんし、近隣の大きい病院でも救急不応需状態で救急車を受け入れることが困難であるという状況であります。がん疾患などの治療成績も十分ございまして、地域の中核病院として重要な役割を果たしていただいております。私たち開業医も非常に頼りにしている病院でございます。改善すべき点は多々あるかと思いますが、改善していただけますようお願い申し上げます。このような大変な時期ではございますが本日はご審議の程よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(5) 亀岡病院長あいさつ

みなさん、こんにちは。病院長の亀岡であります。本日は大変お忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。本日は予算についてご審議いただきます。色々な諸条件が重なり、患者数が減少、医師及び看護師や薬剤師の確保が困難な状況が続いておりまして、非常に苦しい状況であります。精一杯検討はしたのですが、当初から赤字の予算を立ててしまうことになりました。ご審議いただきたいと思います。また、先ほどに市長と会長からお話がありました、地域医療構想に係る再検証要請医療機関については、後程少しお時間をいただいて説明させていただきたいと思っています。本日はよろしくお願いいたします。

(6) 新任委員の紹介

経営管理部長から「碧南市民病院運営審議会名簿」に基づき１名の新任委員を紹介（碧南市青年会議所理事長　小城康裕委員）

(7) 議題

ア　令和２年度病院事業会計予算（案）について

医事経営課長から「令和２年度病院事業会計予算（案）」（参考資料１）に基づき説明を行った。

（加藤丈博会長）

説明が終わりました。ご質問がございましたらお願いします。

（委員①）

今年度の収入の見込みはどのくらいと見込んでいるのですか。

（経営管理部長）

数字は調べておりますが、途中までの経過で申し上げますと、昨年の数字よりも１億５千万くらい収入が上回っています。

（委員①）

それでは、約７０億円が収入見込みですね。そのうえで、予算が７６億円、医師も看護師も少なくなってきていますが、この数字がどのくらい達成可能な数字であるのか。

（経営管理部長）

予算の数字は、見込みというより、目標に近い数字でありまして、達成できるように全職員合わせて努力して参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（委員①）

前年度と比較すると医師の数が３名ほど、看護師は２４名ほどが減っている。医療技術員は同数であるが、事務職員が１名増えている。事務職員が１名増えている経緯はどうしてなのか。経営管理上では、管理的な部門は縮小傾向していくのが、立て直しに一番大事な処ではないかと考えるが、増員している意図があるのかとご説明いただきたい。

（経営管理部長）

事務職員は今年度からすでに増えております。担当は病棟の改修であり、技術員を１名増やしております。

（委員①）

それぞれ理由があると思いますが、このような部分をしっかり減らしていかなければ、改善はできないと考える。また、材料費も予算上で減らしていますが、患者にとっての医薬品や医療材料費であるので、減らせた理由を教えてほしい。

（経営管理部長）

材料費の予算の見積もりは昨年度及び今年度の実績に基づいて算出しております。昨年度が若干過大な数字になっていた可能性もあるため、実績に近い数字に直させていただきました。

（委員①）

昨年度が総合的に１３億円から１４億円を市が負担して、１０億円ほどの赤字であった。来年度は予算の段階で５億円ほどの赤字と見込んでいる。最終的にこの病院をどのようにやっていくのかが大きな課題だと思います。

（委員②）

市民病院ができて３０年以上は経ちます。私も前職で多少関わっていました。開院当時の病院長は臭いもしない病室を作るなどととても夢を語っておられました。看護師の方々も一生懸命に勉強をされて、とても良いなと思っておりました。かと言って、今が悪い訳ではありません。色々な病院の医師、看護師、事務の方とも話をしても、碧南市民病院に悪い評判があるわけでもなく、決して悪い病院ではないのです。私も最後にお世話になる病院と思っていますので、やっぱり良い医師や看護師が一生懸命やっていただければ、本当に幸せです。私たちの市民病院であるという立場でいたいと思います。せっかく生んだ以上は、立派に育てたいなと思っております。一市民と

して、立派に育って、育った結果も自慢できるようなことになるといいなと思っております。質問ではありませんが、私の意見を言わせていただきました。

(加藤丈博会長)

他にご意見ある委員の方はおられますでしょうか。

(委員③)

医師不足に関しては全国的に限界になっている。医師が充実して集まるという画期的な手法は難しい。その中で研修医も来られているし、医学生の修学金制度などの工夫もされている。その中で今後出てくることを期待するしかないかと思われる。世間一般の方が理解しにくい、医局制度など縛る要因があって、なかなか自由に医師を確保できないこともあります。これは、市民病院の努力や問題だけでなく、地域の医師会の協力もなくてはならない。市民全体で市民病院を育てていくという考えのなかで、市民全体で市民病院を支えていくんだという、大きなインパクト、少し持ちかけて盛り上げていかないといけない。いろいろなアイデアをいただきたいですが、やはり医師会と市民病院の連携のなかで、もっともっと効率化できることもあるでしょうし、そのように考えていかなければいけないと思いました。

(加藤丈博会長)

他にご意見ある委員の方はおられますでしょうか。

(委員④)

市民病院の医師の確保が、研修医制度が変わって本当に大変になったと思います。また、控除対象外消費税問題がありまして、機器の購入に消費税が１０％となりましたが、その消費税１０％が診療報酬に十分に反映されていない。大きな病院になればなるほど、機器の購入に消費税を払うが、診療報酬に消費税分の上乗せが十分できていないことが、病院経営をだんだん難しい状況にしているのは確かだと思います。

(加藤丈博会長)

他にご意見ある委員の方はおられますでしょうか。

それではご質問もないようですので、次の議題にうつります。

ご説明お願いいたします。

イ　令和２年度訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所事業計画及び予算(案)について

訪問看護ステーション管理者から「令和２年度訪問看護ステーション・居宅介護支

援事業所事業計画及び予算（案）」（参考資料２）に基づき説明を行った。

（加藤丈博会長）

説明が終わりました。ご質問がございましたらお願いします。ご意見等がないようですので、その他の事項にうつります。その他の事項で何か説明がございましたらお願いします。

（亀岡病院長）

先ほどにお話させていただきました。地域医療構想について報告させていただきます。スライドを使って説明させていただきます。地域医療構想は高齢化社会に向けて、厚生労働省が全国の病床数を調べたうえで地域における病床数が足らないのか、過剰なのかを集計した結果を提示し、地域で医療のあり方を考えて下さいというのが地域医療構想である。その後で改革がなかなか進まないため、厚生労働省が調べたうえで、公立公的病院を対象に考え直してくださいということを発表しました。新聞記事でありますが、４２４病院が再編は必要というふうに出しながら、碧南市民病院がその４２４病院に含まれてしまった。厚生労働省は必ずしも再編統合しなさいというわけではないのですが、ここに名前が載っている病院は地域でいらない病院でないか的な内容が書かれており、そのような意味だけが先行してしまっています。発表内容をよく見ると再編が決定ではなく、再検証してくださいとなっている。発表自体がおかしいのではないかと当初から主張をしています。当院は、がん疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、脳卒中疾患、救急医療に関しては診療実績を満たしており、医療機能を十分に果たしております。神経内科、口腔外科などの他院にない特徴も有している。救急車も年間で３，５００台受け入れしている。西三河南部西医療圏における病床数は過剰ではない状況である。公開に使われたデータは正確ではなく、マクロでの検討であり、地域の実情に即していないし、考慮もされていない。現在では、地域医療構想を実現するための組織として、西三河南部西地域医療連携推進ネットワークを組織し、２１病院と５有床診療所が参加している。このネットワークでは、リストアップされた病院をどう扱うかではなく、地域において効率的で不足ない医療提供体制を構築する方向性を検討している。１月２７日にネットワーク幹事会と地域内医師会長会議を開催した。急性期５病院で今後連携を強化する方針を確認し、今後は西三河南部西医療圏地域医療構想推進委員会で検討していく。２月１９日に地域医療構想推進委員会を開催する。この会議のなかで医療機能をどうするかが明確になっていくので、その段階

で病棟改修を再開していきたいと考えています。

（経営管理部長）

若干の補足説明をさせてください。指定への影響が２点ございます。西尾市から「市民病院の今後のあり方に関する協議」の回答で、平成３１年３月１５日付けの文書において西尾市から提案された回答は、再編統合の結論を得た以降に回答を予定させていただきたい。病棟改修計画でありますが、設計業務委託を資料のとおり業務委託した。今回の指定を受けて、再編統合の結論に合わせた設計に修正する可能性があることから、再編統合の結論を得るまで計画を延期させていただきたいことであります。

（禰宜田市長）

西三河南部西医療圏は高度急性期が足らないが、急性期は多いということで、碧南市民病院は急性期であるため、どれだけ減らすのかを検討する必要がある。年間の赤字が１０億円程度と続くと市も負担しきれないため、その辺を肝に命じて検討していただきたい。病床数を削減することも含めて、患者の偏りが医療圏内であること、病床利用率が７０％前後であること、年間で４から５億円の赤字の範囲のなかでおさまることを踏まえて議論をしてもらいたいと言うのが私の意見であります。

（加藤丈博会長）

他にご意見がございましたらお願いします。

（委員⑤）

重度の障害があるお子さんは、生まれた時から遠くの病院に通っている。急変時のため、地元の医療機関でかかりつけ医を作ってくださいと言われる。地元に救急医療のある病院があるのは非常にありがたい。レスパイトケア入院ができる病院も重要であり、需要は少ないのかもしれませんが、地域にそのような病院があることも、これも１つの価値だと思います。このようなところで大きな役割をもつのは公的な病院ではないかと思いますので今後ともご議論をお願いします。また、保育関係の仕事をしていることから、多くの外国の方々の保育をしています。今回の新聞のような感染症等の事態になった場合はどのように考えているのか、教えていただければありがたいです。

（亀岡病院長）

新聞等で報道されている感染症に関しては、基本的にはインフルエンザなどの一般

の感染症と同じ扱いで問題ないとされています。つきまして、通常のとおり対応をいたします。

（委員①）

私が碧南市民病院運営審議会の委員になった当初は５億円ほどの赤字であった。それが、年々で赤字が増加している。５年間審議会の委員をして色々と意見させていただいたが、根本的な部分は何も改善されていない。改善するためには何か動かなければ改善されない。病院経営を専門でしている機関があることも紹介しましたし、事務の方に病院経営専門の方を採用するなど、病院経営の改善のために何かをやっていただきたいと思います。

（加藤丈博会長）

他にご意見ある委員の方はおられますでしょうか。

（医事経営課長）

来年度の開催予定は令和２年７月１３日と令和３年２月１日でございます。ご予定のほどお願いいたします。

（加藤丈博会長）

それではお時間もまいりましたので、これをもちまして本日の会議を終了させていただきます。

本日は長時間にわたりまして、ご協議いただきましてありがとうございました。これをもちまして、令和元年度第３回碧南市民病院運営審議会を終了いたします。

（全ての予定を終了）